



令和8年5月1日

新緑の青葉にすがすがしさを感じる過ごしやすい季節となりました。

入園をして一か月が経ちました。初めの頃は泣いていた子ども達も園生活に少しずつ慣れ笑顔を見せてくれる時間が増えてきました。保育室ではハイハイやすりばい、伝い歩きをし好きなおもちゃや興味のあるおもちゃを取りに行ったり保育者に歌を歌ってもらいながらスキンシップを取ると手足をバタバタさせて喜んでいきます。戸外では四人掛けの散歩カーやベビーカーに乗って園周りの散歩をして春の植物のタンポポや綿毛、つつじの花や葉っぱなどの自然に触れたり、近くの公園でシートを敷いて日向ぼっこなどして過ごす「あーうー」などの喃語でお話をしています。散歩から帰るころにはベビーカーの揺れが心地よく気持ちよさそうに眠る子もいるなど機嫌よく過ごしている子どもたちです。来月もゆったり過ごしながら、天気の良い日は戸外に出て、子ども達と色々と発見を楽しんでいきたいと思ひます。また、つかまり立ちやはいはいなど行動範囲が広がってきたため、安全には気をつけて保育をしていきたいと思ひます。

○今月のねらい

- ・園生活に慣れ、生活リズムを整える。
- ・散歩に出掛け、戸外の心地よさを感じる。

○活動内容

- ・散歩（本町公園、本園、徳石通り南広場）
- ・室内遊び（ふれあい遊び、ボールプール、感触遊びなど）



～大型連休中のおねがい～

新年度が始まって1か月。子どもたちの身体は疲れもたまっている頃です。お休み中も普段の生活リズムを崩すことなく、遠出の外出をした時の翌日はゆっくりと休みリズムを整えて登園をしましょう。



「ごはんおいしいね～！！」

食欲旺盛のひよこぐみさん。保育者が給食の準備をはじめるとつかまり立ちをして、じっとみている子もいます。エプロンをつけて「いただきます」の挨拶をすると大きな口を開けて食べています。保育者の「モグモグおいしいね」という声かけで夢中になって口を動かして食べています。食べ物が口の中からなくなると、机をトントン叩いて頂戴と伝えたり、「んー」などと声を出してアピールをする子もいます。保育者も子どもたちと一緒に口を動かし咀嚼の仕方を知らせながら楽しく食事を進めていきたいと思ひます。